

1

拾
う

遊具

太陽

住所

旅館

期待

2

ウ
(記述題)

エ

イ
ア
エ

エ
⑤
⑥
ウ
⑧
ア
⑨
イ

7 A
金

B
だ

C
コン

D
り

8
I
薬
II
副作用

9 ⑩
イ

⑪
ウ

3

1
空気

2
②
イ
③
エ
④
ウ

3
物理学的に

4 I
目

II
手

III
後

5
×
6
雲

7
低気圧

8
低気圧とは

9 I
2

II
2

2

2
数値がよくなっています

(同意可)

配点	
1・27・34	各2点×13=26点
22	6点
その他	各4点×17=68点
〈計〉100点	

- 1 忘れたり落したりした物のことを「遺失物」といい、拾った「遺失物」を「拾得物」という。
- 2 「遊」は五画めから九画めを正しく覚えておこう。
- 3 「太」を「大」と書かないように、「陽」の右側を「易」のように書かないように注意しよう。
- 4 「住」を「往」と書き間違えないようにしよう。「往」は「オウ」と読む。
- 5 「旅」も「館」も画数が多く、字形が難しい。普段からそういう漢字に対しては特に意識を高く持って練習しよう。
- 6 「待」の部首に気をつけよう。「持」や「特」ではない。

2

- 1 線①のあとの大谷先生のことばから、どういうことを考えていたのか見当をつけよう。「副作用がずいぶん軽い吐き気も少ない気分はよくなる」食事もおいしくなる」と言うことよって、「抗がん剤（を頑張ろうか）」ということばへの抵抗感を何とかなくしようとしているのである。
- 2 本文の冒頭の「もし数値がよければ」時退院できる」という部分から、（当然、最終的には完治を目指しているであろうが、）現時点では段階的な回復を意識していることがわかる。それをふまえて答えを考えてほしい。
- 3 直後の「病名を告げられたときから疑問だ」をもとに考えていくとよい。選択肢はどれも早弓の思いではあるが、「病名を告げられたときから」という要素を加味すると一つに決まるだろう。
- 4 「これからどうなるのだろう」「頭をかしげても首をひねってもわからなかった」「どうしてお母さんにあんなこと言っちゃったんだろう」といった表現から答えにたどりつけたであろう。こういうタイプの問題に取り組む際には（ ）の前後の表現に注目するのは必須である。
- 5 なぜこのタイミングでこのようなことをお母さんが言ったのかを考えてほしい。抗がん剤治療がよい結果になり一時退院できることを期待していたのに、告げられたことばは早弓にとってはあまりにショックなものであったのだ。また、「激しい声が出た」早弓に取り乱すことなく「さあちゃん、落ち着いて」ということばをかけることができているということは、お母さんは「数値はよくなっていなかった」早弓の気持ちをきちんと推し量ることができていたのであろう。
- 6 どういう心情のときにどういう「声」になるかを考えよう。「上ずった声」は「へんにそわそわして落ち着きがない声」という意味である。
- 7 A「引き金」は「ある問題や事態を引き起こす原因やきっかけ」のこと。B「なだめる」は「怒りや不満などをやわらげ、しずめること」である。C「コントロール」はここでは「ちょうどよいように調整・管理すること」である。D「やりくり」は「いろいろくふうして都合をつけること」である。
- 8 「今度の薬は食事もおいしくなるんじゃないかな」という大谷先生のことばから、早弓が——線⑦のように言う原因はわかるだろう。
- 9 線⑩を含む一文を読むと「心の重り」は早弓の体の辛さと関係が、そして——線⑪の「胸をく重り」は直後に「お母さんの顔」とあることから「お母さん」と関係があるのはわかるだろう。

3

- 1 同段落内に「目に見えないものに重さがある」とあることに注目して答えをさがしていこう。二つあとの段落で「空気の圧力」についての説明があった。
- 2 それぞれのことばがどのような働き・意味を持つのかを確認しておこう。
- 3 直後の一文の「というのです」という表現が、ここより前の部分をくわしくしている表現の目印であることを見抜きたい。「類似」と「同じように扱えることができる」を結びつけて考えよう。また、字数だけで答えを決めてはいけませんが、手がかりの一つとして考えることも必要である。
- 4 I「目にする」は「見る」、II「手にする」は「入手する」、III「後にする」は「帰る」「立ち去る」という意味である。「くにする」ということばは他にも「口にする」「気にする」「苦にする」「異にする」など色々ある。
- 5 Bはイメージする力が問われている。みなさんが見るスナック菓子などの袋は、平地での「頭上に存在する空気の量」からの気圧を受けて、ちょうどよいあの姿なのである。「頭上に存在する空気の量」が減るとどうなるかイメージしてみよう。
- 6 本文のここよりあとから「低気圧」は雨を降らせるといことがわかるだろう。ただ、「雨を形成する」のはやはり不自然だろう。雨を降らせるためには何が作られないといけないかを考えよう。
- 7 「周りより低いか高いか」で何が決まるのかはここよりあとを読めばわかるだろう。「以下」という表現から「低気圧」と「高気圧」のどちらがふさわしいかを判断しよう。
- 8 文章前半は「気圧と水圧」、後半は「低気圧と高気圧」について述べられている。今自分が読んでいる文章のこの部分では、何の話をしているのかは常に考えなければならぬ。
- 9 本文と問題（ここではI IIの内容）の照合作業を怠ってはいけない。適切な箇所をまずは見つけ、そこから細かく読んでいくようにしよう。